



府中緑ヶ丘中学校だより

学校教育目標『志を育てる ～思いに耳を傾ける～』

〒735-0024 安芸郡府中町緑ヶ丘3番18号 <http://mjh@midorichu.fuchu-town.ed.jp/>

令和8年3月18日 第12号

府中町立府中緑ヶ丘中学校

Tel 082-283-4701

Fax 082-283-4707

発行責任者 相星 美智子

第46回卒業証書授与式

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



3月6日（金）、210名の卒業生が本校を巣立っていきました。学校長式辞で「挑戦する事」「自分を大切にすること」の2つの言葉を卒業生の皆さんに贈りました。

友達と笑い合った日、悩みながら前に進んだ日、何気ない日常の積み重ねが、卒業という日につながっていきます。卒業生の皆さんは、確実に自分の力で未来への一步を踏み出しました。これまで温かく見守り、支えてくださった保護者・地域の皆様に、心より御礼申し上げます。卒業生の皆さんのこれからの日々が、希望と挑戦に満ちたものとなることを願っています。

在校生送辞

冬の寒さが和らぎ始め、春のやわらかな日差しが感じられる今日の良き日。御卒業を迎えられた卒業生の皆様に、在校生を代表して心よりお祝い申し上げます。御卒業おめでとうございます。

府中緑ヶ丘中学校で過ごした三年間を振り返ったとき、先輩方はどんなことを思い浮かべられるでしょうか。私達在校生にとって先輩方はとても頼もしく、憧れの存在でした。

先輩方は「前進(前に進む)・全進(全力で進む)・善進(善きところで進む)」を学年スローガンに掲げられ、学校行事に真剣に取り組まれている姿を私は何度も目にしました。また日常生活でも常に前を向き、自分の目標に挑む先輩方の姿は多くの人に感動を与えました。

五月に行われた体育祭。紅白の団長の堂々たる選手宣誓に会場は空気が一気に引き締まりました。そして学年種目の30人31脚。全員が心を一に揃えクラス一体となって走る先輩方の姿は、仲間との

絆と自信にあふれ、多くの人々の心を動かしました。全体練習の際には、1・2年生の私たちとも積極的にコミュニケーションをとってくださり、本番では私たちが競技をしている時に名前を呼び、「頑張れ!」と鼓舞して下さる声がたくさん聞こえてきました。その声がか力になり練習してきたことが出せたと思います。先輩方のおかげで学年という枠を超えて、「思い出に残る体育祭にしよう」という気持ちが全学年に統一されました。また体育祭全体を通して先輩方の優しさや他者を尊重する姿もまた心に深く残りました。

そして10月の文化祭。本番が近づく放課後の廊下には一生懸命練習におかう先輩方の声が響き渡っていました。その姿は全員が「最高の結果にしたい」そう思っていることが、伝わってきました。そして迎えた文化祭本番。体育館には張り詰めた空気が漂い、誰もが緊張に包まれていました。そのような中で、先輩方の姿と迫力のある、美しい歌声に私たちは圧倒されました。どのクラスの合唱からも一つ一つの歌声に込められた思い、そして先輩方の熱意や心の響きが感じられました。それはまさに三年間の集大成といえる歌だったと思います。

そして、先輩方とともに過ごした中学校での毎日は、私たちにとって多くを学び、成長することができたかけがえのない時間となりました。

日々の学校生活はもちろん、部活動で共に汗を流し、励まし合いながら取り組んだ経験は、私たちの心に深く刻まれています。先輩方が示して下さった努力する姿勢や仲間を大切にする思いは、これから歩む私たちの道を照らす大きな支えとなりました。

受け継いだ伝統と温かい雰囲気を守りながら、私たちも後輩たちに誇れる姿を築いていけるよう、これからも努力していきたいと思います。

府中緑ヶ丘中学校で学んだこと、仲間との思い出をずっと大切にしてください。これからそれぞれの新しい道に進む先輩方を在校生一同心より応援しています。本日は御卒業、誠におめでとうございます。

在校生代表

卒業生答辞

冬の寒さも和らぎ、空が春の日差しに満ちあふれる季節となりました。本日は私たち卒業生のために、このような素晴らしい卒業式を挙げていただき、ありがとうございます。

ご多忙の中、私達のためにご臨席くださいました皆様、誠にありがとうございます。

自分よりも少し大きく、真新しい制服に身を包み、この府中緑ヶ丘中学校に踏み出したあの日からはや三年の月日が経ちました。経験するすべてのことが新鮮で、期待に胸を膨らませていた反面、これから過ごす中学校生活に不安を抱いていた三年前が、昨日のこのように鮮明に思い出されます。

入学してからまもなく、オリエンテーションや部活動体験、体育祭といった行事が立て続けに行われていきました。すぐには感じられなかった団結感も一年がすぎる頃にはクラスにあって当たり前のものとなっていました。

日々に追われるうちに瞬く間に過ぎた二年生。

私達も「先輩」と呼ばれるようになりました。憧れていた先輩方のように振る舞えているのかと不安にかられながらも中学校生活を全力で過ごしました。その時間を振り返ると、一生懸命だったと自分たちのいじらしさを惜しく感じてしまいます。

そして私達の記憶に強く残った、中学校生活最大の行事である修学旅行。

自分たちの部屋割りが発表される日は、皆、胸を躍らせながらも、どこかそわそわしていたことを懐かしく思います。この修学旅行で私達は何を目標にするのか、どのようなルールが必要かを、クラスやそれぞれの係、学年で何度も話し合いました。修学旅行の中では自分たちで立てた計画をもとに行動し、京都の

歴史を伝統食や歴史的な建造物から学ぶことができました。たくさんの方が待ちに待っていたユニバーサル・スタジオ・ジャパンでは帰りのバスでぐっすり眠ってしまうほど、仲間と過ごす時間を全力で楽しみました。

そして3年生になった私達は「受験生」と呼ばれるようになりました。

中学校生活最後の行事を悔いの残らないよう全力で取り組んだ一年間でした。

5月に行われた体育祭では、リレーや学年種目、入退場の動きまで厳しい日差しが照りつけるグラウンドで練習に励みました。それぞれの学年、クラス、紅白団が奮励努力してきたからこそ、本番では沢山の人が感動する体育祭になったと思います。

私達の学年種目であった「30人31脚」では、はじめは前に進むことさえも難しく何度も意見が対立し、なかなかうまくいかない日が続きました。それでも互いを支え合い、紐で結んでいる足を真っ赤にしながら着実に一歩ずつゴールへと歩いていきました。

私達の記憶に深く残っている中学校生活3回すべての体育祭は、団長や体育委員をはじめとする、自分の役割をやり遂げてくださった皆さんがいたからこそ大成功を収めることができたと感じています。本当にありがとうございました。

10月に行われた文化祭では全員が大きな目標に向けて心を一つに練習に励みました。最高学年となり、私達が目指したのは「金賞」そして「全校最優秀賞」。どのクラスも、「絶対に熊野に行こう!!」と声を掛け合っていました。練習を始めてすぐの頃は、声量や声の重なりなど、自分たちの合唱に満足できる部分は殆どありませんでした。限られた練習時間を通して、歌詞について理解を深め、クラス全員で歌い方の工夫を試行錯誤しました。学年練習や放課後には他クラスから力強い歌声が響いてきます。自分たちの合唱に焦りを感じつつもその悔しさをバネに「一味同進」してきました。本番では、練習してきたことすべてを出し切り、どのクラスも最高の合唱を披露しました。たくさんの人を感動させる合唱を作り上げられたことは、私達の努力の「証」となりました。また、展示作品やステージ企画も大きな盛り上がりを見せ、たくさんの人に感動を与え、思い出に残るものとなりました。

「友」との別れを惜しみながら、そして、たくさんの方々に支えられながら私達は今日、卒業式を迎えています。

ご来賓の皆様、並びに地域の皆様。日頃より私達のことを暖かく見守っていただき、心より感謝申し上げます。ボランティア活動や行事など、様々な場面で皆様からの「エール」や支えがあったからこそ充実した学校生活を送ることができました。

在校生の皆さん。皆さんとは様々な行事や部活動で苦楽をともにしてきました。その中で、先輩としての自覚を持ち、自分たちの役割を考えながら行動するようになりました。

在校生の皆さんも、卒業なんてまだ先の話だと思っているかもしれませんが。中学校生活は光のように早く進んでいきます。今だからこそできることを仲間と共に全力で取り組んでいってほしいです。

先生方。3年間本当にお世話になりました。

いつでも真剣に私達と向き合ってください先生方の温かさに何度も救われてきました。私達が間違えてしまったときは、何度でも正しい道へと導いてくださいました。そして、先生方からは、学習の面ではもちろん、人として大切なこともたくさん教えていただきました。

卒業生一同、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

保護者の皆様。私達のことを、一番近くで受け止め、支えてくださったのは間違いなく家族だと感じています。私達からの「手紙」は受け取っていただけでしょうか。ときに素直になれず、心ない言葉をぶつけてしまうこともありましたが、いつも変わらず支え続けてくださり、ありがとうございました。皆様の記憶に残るあんなに小さかった私達も、たくさんの方々の支えのおかげでこんなに成長することができました。15年間、

育ててきてくださり、本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

そして、卒業生の皆さん。たった3年間しかなかった私達の中学校生活はたくさんの出来事で溢れています。何気ない普段の会話も、いつも絶えることのなかった笑い声も今までは普通の日常の一コマでした。ですが、そんな当たり前が明日からは思い出に変わってしまうことをすごく寂しく感じてしまいます。たくさんの苦楽を共に乗り越えてきた仲間が皆さんで本当に良かったです。

これからは、それぞれの道を歩んでいきますが、この3年間で築いた友情という「栄光の架橋」を胸に、たとえ大きな壁が立ちはだかったとしても、自分たちで選んだ道を「正解」にできるよう、力強く歩んでいきます。

終わりにになりましたが、府中緑ヶ丘中学校のさらなる発展と、皆様方のご多幸を心よりお祈りして、答辞とさせていただきます。

卒業生代表

Green Soul

3年生が実際に高校入試で取り組んだ自己表現等を1・2学年の教室で発表してくれました。入試のことを意欲的に質問する生徒もおり、自分たちの近い未来を想像しながら、生かすことができる活動になりました。先輩の姿に育てられていく後輩の姿が素敵でした。



三年生を送る会

三送会では、1・2年生が心を込めて準備した企画が次々と披露され、会場は温かい拍手と笑顔に包まれました。3年生のこれまでの歩みを振り返るスライドでは、懐かしい写真に歓声が上がリ、合唱では会場全体が一つになりました。準備を進める中で、在校生は「先輩たちに喜んでほしい」という思い

を胸に、役割を分担しながら協力し合う姿が見られました。3年生の背中を見て育ってきた1・2年生が、今度は学校を支える側へと成長していくを感じさせる時間となりました。

3年生の皆さんの未来が、明るく実り多いものとなることを心より願っています。



CS 読み聞かせ

1年間ありがとうございました!



表彰の記録

第1回コベルコ建機カップ 中高生レスキューロボットチャレンジ 2026	プレゼンテーション賞	パソコン部
--	------------	-------